

# 上和田有機米生産組合だより



## 9月号

9月に入りましたが30度を超えています。夕方のテレビで「山形県内で今日一番暑かったのは高島町です。」とお天気お姉さんが微笑みます。そんな中、今日もがんばって働いたと自分で自分を褒めます。この夏の猛暑日が15日と山形県内で一番多いとのことでした。この高温続きの影響で例年よりも刈り取り敵期が一週間から10日早くなりそうです。高品質の出荷に向けて刈り遅れのないよう気をつけていきます。



8月31日、今年も地元高島高校の一年生全員が「いのち耕す体験」として農業体験を半日しました。高島駅近くに高校が移転した為、町外の農業を知らない学生が多くなり、ここ高島町は有機農業が盛んであることを知ってもらい、いろんなことを学んで欲しいとのことで数年前からはじまりました。作業は田んぼの草取りやぶどうの出荷のお手伝いと各組合員で違いますが、猛暑日で半日が長く大変だったとのことでした。



写真は皆川さんのかぼちゃの出荷のお手伝いの様子です。サイズ毎選別してコンテナに積む作業をしてくれました。コンテナが重く、その上暑いので疲れたとのことでした。

### 有機JASの研修会

東北の有機農産物生産者が高島に集まって有機JAS認証の研修会が行われ、当組合からは二宮組合長始め10名が参加しました。改めて法律を読み直すところから始まり、今回の変更点等の説明を受けました。

認証取得には、申請書に使用肥料・田植日などを記録して提出し、田んぼや作業場を見て廻る現地検査があります。栽培日誌は自分の作業を振り返り、翌年の作業計画を立てる為につけていますが、検査委員に説明し、質問に答える事によって改めて気づく事もあり、認証取得は大変な作業では在りますが、より安心して食べて頂く為に研鑽を積んで参りたいと思います。



吉田繁夫・芳子ご夫妻の娘さんの咲穂さん。高島町産業経済課の水田営農係に勤務していて、組合員もいろいろサポートして貰っています。休日にデラウェアの収穫作業をお手伝い。